

平成 29 年第 10 回庄原市教育委員会 会議録

- 1 日 時 平成 29 年 9 月 15 日（金） 午後 2 時 19 分開会
午後 4 時 08 分閉会
- 2 場 所 庄原市役所 本庁舎 5 階 第 2 委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 牧原 明人
教育委員 末信 丈夫、横山 和明、神本 久美、立花 有佐
- 4 欠席委員 なし
- 5 出席職員 教育部長 片山祐子
教育部教育総務課長 荘川隆則
教育部教育指導課長 中重秋登
教育部生涯学習課長 花田譲二
教育部教育総務課総務係長 宗綱秀臣
教育部教育指導課指導係長 東直美
- 6 傍 聴 人 なし
- 7 議事日程 日程第 2 議案第 53 号 庄原市社会教育委員の委嘱について
日程第 3 議案第 54 号 庄原市芸術文化振興審議会委員の委嘱について
日程第 4 議案第 55 号 庄原市図書館協議会委員の委嘱について
日程第 5 議案第 56 号 庄原市文化財保護審議会委員の委嘱について
日程第 6 議案第 57 号 庄原市博物館資料館運営協議会委員の委嘱について
日程第 7 議案第 58 号 庄原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
日程第 8 個別報告及び協議事項
その他

教育長 ただ今から平成 29 年第 10 回庄原市教育委員会を開会します。会議日程に従い進めます。

日程第 1 教育長報告

- 教育長 日程第 1 教育長報告を行います。
- ・ 学校適正規模・適正配置について
 - ・ 「しょうばら教育の日」の制定について

- ・ 県立高等学校教育改革について
次に、教育部長からの報告をお願いします。
- 教育部長
 - ・ 東京オリンピックの事前合宿誘致活動について
 - ・ 庄原市議会 9 月定例会について
 - ・ 北朝鮮によるミサイル発射への対応について
- 教育長
各課からの報告をお願いします。まず、教育総務課からお願いします。
- 教育総務課長
 - ・ 学校施設・設備の整備・充実について
 - ・ 幼稚園教育の支援について
 - ・ 小中学校適正配置基本方針・実施計画の策定について
- 教育長
教育指導課からの報告をお願いします。
- 教育指導課長
 - ・ 「学びの変革」パイロット校・事業指定校について
 - ・ 生徒指導対策について
 - ・ 科学研究作品審査会及び発明工夫展作品展示会について
- 教育長
生涯学習課からの報告をお願いします。
- 生涯学習課長
 - ・ 第 13 回庄原市美術展覧会の作品募集について
 - ・ 障害者スポーツの支援について
 - ・ 家庭の教育力の向上について

日程第 2 議案第 53 号 庄原市社会教育委員の委嘱について（非公開）

日程第 3 議案第 54 号 庄原市芸術文化振興審議会委員の委嘱について（非公開）

日程第 4 議案第 55 号 庄原市図書館協議会委員の委嘱について（非公開）

日程第 5 議案第 56 号 庄原市文化財保護審議会委員の委嘱について（非公開）

日程第 6 議案第 57 号 庄原市博物館・資料館運営協議会委員の委嘱について（非公開）

日程第 7 議案第 58 号 庄原市スポーツ推進審議会委員の委嘱について（非公開）

日程第 8 個別報告及び協議事項

- 教育長
日程第 3 個別報告及び協議事項に移ります。担当課から説明をお願いします。
- 教育指導課長
今年度の全国学力学習状況調査の結果について報告します。4 月 18 日火曜日に小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に行われたもので、資料は調査実施教科の平均正答率を示しています。小学校、中学校とも個別に示していますが、各教科 A 問題、B 問題とあります。A 問題は知識に関する問題、基礎的基本的な部分で、B 問題は活用する力を問う問題とご理解ください。
課題として考えられているのが中学校の数学で、A 問題、B 問題ともに県の平均

正答率を下回っています。ここ数年、中学校の数学はこういった傾向があります。本市としても今後数学の力をつけていくことが大きな課題であると捉えています。

小学校では国語B問題ですが、書くこと、読むことについて県平均を下回った状況です。それから算数で特徴的な部分としてB問題の図形ですが、全国でも正答率が低いのですが、本市は更に下回ったということで、図形が大きな課題です。

中学校の国語と数学ですが、国語A問題は読むことと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項で県平均を下回りました。また、数学ではほぼどの分野も残念ながら県平均を下回った状況です。特に分野的に課題と捉えたのがB問題の図形です。小中ともここは課題となっています。また、関数は県平均よりも約3ポイント程度下回っており、この辺も改善を図る必要があると考えています。

続きまして、「基礎・基本」定着状況調査ですが、これは広島県のみで実施しているものです。6月13日に小学校5年生と中学校2年生を対象に行われました。結果ですが庄原市は県平均を全ての教科で上回っており、成果が出たと捉えております。特に中学校の英語は県平均を10ポイント近く上回っており、授業改善の成果が出たと捉えています。具体的にはタイプⅠ、タイプⅡとありますが、タイプⅠは基礎的・基本的な内容、タイプⅡはそういったものを活用する力とご理解ください。

小学校5年ですが特に顕著な差として県平均を下回ったのは理科、物質です。例えば物の重さの量り方、アルコールランプの正しい使い方、そういったものがこの分野に含まれていたと思います。また、タイプⅡ、物質ですが、ここも県平均を下回っています。物の重さと体積の関係といった問題でした。その他は県平均を上回っています。次に中学校2年生の状況ですが、県平均を下回ったのは数学のタイプⅠ、資料の活用で3.6ポイント下回っています。具体的には中央値の意味で、グラフを見て中央値の意味、相対度数の意味などを問う問題が含まれています。他にタイプⅠ、タイプⅡとも50%を下回ったのが地学と化学という状況です。

教育長

ただ今の全国学力調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果について、ご質問、ご意見あればお願いします。

末信委員

小学校6年生、算数の図形で正解率が11.7ということは10人中1人位しか正解がいなかったということですか。これは県平均も全国平均も正解率が低いのですが具体的にどういう難しさがあったのでしょうか。

教育長

どんな問題だったのか説明してください。

教育指導課指導係長

長方形の紙があり、三等分して折るときに、どこを折ればいいのかという三等分する方法を説明するような問題です。例えば「直線の長さを求めなさい」とか「角の大きさを求めなさい」というものなら直感的に解るのですが、論理的にどうしたらそれが三等分になるということを説明していく、その説明の中には数学的な根拠も入れなければならないので、やはり基本的なことを理解して適切に表現できる、そういう力が要ることになり、理解力と表現力の両方が要るのかなと思います。

末信委員

全国的に解答できていないということだから適切な問題だったのかというのもあるのですが。以前にも話したのですが、県の学力調査は5年生で、全国の学力調査

は6年生で実施しているのですから、5年生から1年経過した力具合の分析などが要るのではと思うのですが、また機会があれば報告して頂ければと思います。

教育指導課長 実際に出題された問題はホームページでも見ることも出来ますが、「基礎・基本」の各教科の問題の写しを教育委員に後で個別にお渡しますのでご覧ください。

教育長 5年生が「基礎・基本」定着状況調査で80点位だったのが、6年生になってどうなったのか、図形とかで比較できるのではという指摘ですがその辺はどうですか。

教育指導課指導係長 教育指導課で、年によって出題内容は違いますが、どこに課題があってそれ以降に改善されたかなどについて、来月には学校にも報告しますので、またお伝えできればと思います。ご指摘の分析の方法もあると思っています。

教育長 全体的に昨年の5年生の成績はあまり良くなかったです。そして全国の調査でも伸びがあまり良くないです。もっと言えば今の中学校2・3年生が小学校5・6年生の時から3年経った時、どうだったかを比較したこともあるのですが、中学校でぐっと伸びている教科があれば中学校の取り組みが良いということになります。問題が一律ではありませんが、そういう分析はしていますがなかなか成果に結び付いていないところはあります。今回、庄原市の「基礎・基本」定着状況調査は非常に良かったです。他市町の結果は今持っていませんが、他市町と比べても良かったです。それで来年も期待できますかとなりますが、これはちょっと判らないです。

末信委員 もう1点、規模の大きい学校と複式の小規模校での傾向とかがわかりますか。

教育指導課長 一概には言えませんが、本年度は人数が多い学校は数値的に厳しく、小規模校が数値的には高いという傾向が出ています。小学校もいろいろ学校がありますが、中学校でそういう傾向が強いというのはあります。

教育長 これは一概に言えるものではなく、例えば平成26年度は小規模の小学校も悪い状況がありました。ところが平成28年、29年は小規模校の方が全体的に若干上回っています。出題内容にも影響がありますが、意欲とか意識調査を見た際には人数が沢山いる方が良いでしょう。要するに頑張ろうとか、意欲があるとかのデータが出ています。家庭での宿題をちゃんとしているとかは、小規模校よりも大規模校の方が良い傾向にあります。しかしテストの結果や成績を見た時に、一概に言えませんが、最近は大規模校の方が良い場合もありました。

教育指導課長 決して大規模校をアピールする訳ではないのですが、庄原中学校の取り組みが功を奏している部分はあると思います。

教育長 昨年度、英語は県内では2番目に良い結果を出しています。しかも1番の東広島市とは0.1ポイントの差でした。0.1は非常に大きくて、0.1ポイント向上させるのは大変な努力が要るのですが、それでも東広島市に次いで庄原市は2番でした。今年も東広島市に劣りましたがそれでも県内では3番になっています。英語はここ2年間、非常に優秀な成績を挙げていて、特に庄原中学校の健闘が光っています。

教育長 以上を持ちまして、第10回庄原市教育委員会を閉会します。

会議終了 午後4時08分